

## 高岡市立公民館の現状と課題

### 1 検討の背景

今後の人口減少・少子高齢化が急激に進む中で、地域コミュニティの拠点施設としての市立公民館のあり方を検討する必要がある。

### 2 現状

#### (1) 市立公民館の内訳

種類	館数	館名
支所併設公民館	3	伏木、戸出、中田
行政センター併設公民館	1	福岡中央
地区連絡センター併設公民館	13	能町、野村、二塚、佐野、守山、福田、国吉、牧野、太田、石堤、東五位、小勢、立野
単独公民館	19	博労、成美、平米、定塚、下関、横田、西条、川原、木津、二上、古府、北般若、是戸、醍醐、福岡、山王、大滝、西五位、赤丸
計	36	

- ・ 36 の市立公民館の区割りは、連合自治会の地区割りと対応している。
- ・ 市立公民館は各地域の自治会公民館を取りまとめる役割を担っている。(福岡地域除く)
- ・ 地区連絡センター併設公民館は、各種証明書の発行事務を行っている。

#### (2) 職員配置

- ・ 館長 (委嘱、地元推薦)
- ・ 主事 (常勤、市で採用) ※福岡地域除く
- ・ 指導員 (委嘱) ※単独公民館と野村、能町に配置
- ・ 事務員 (非常勤)
- ・ 清掃員 (非常勤)

#### (3) 利用料

- ・ 高岡市公民館条例で公民館の利用は無料。

### 3 課題

- ・ 市立公民館の多くは昭和 50 年代に建設されており、建設から 40 年以上の館が 6 館、30 年以上 40 年未満の館が 18 館、20 年以上 30 年未満の館が 5 館、20 年未満の館が 7 館となっている。
- ・ 施設の老朽化が進み、維持費も上がることから、今後、持続可能な公民館運営を構築するために、その役割・適切な配置の検討が求められる。